

ヤマザキ動物看護専門職短期大学 実務家教員担当科目一覧

	科目名	必修/選択/自由	学年	開講期	単位数
1	公衆衛生学	必修	1	前期	2単位
	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。				
2	コンパニオンドッグトレーニング論	必修	2	前期	1単位
	本科目では、学習理論を中心として犬の学習と行動の関係を学び、犬が社会で健全に人との暮らしに適応できる指導能力の基礎となる知識を学ぶ。犬の行動観察、分析の技術は確かな理論の理解能力に裏付けであり、優れたコンパニオンドッグトレーナーとしての技術の基本知識となる。				
3	動物内科看護学	必修	1	前期	2単位
	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、アセスメント、採血、投薬、注射、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。				
4	動物外科看護学	必修	2	前期	2単位
	外科疾患の原因と症状、特徴、関連する検査、外科的治療と看護について講義する。臨床現場で実際に遭遇する頻度の高い疾患や、緊急性の高い疾患、避妊去勢などの予防的手術など、重要と思われる外科手術の例を主に取り上げ、各疾患を概説するとともに、病態に基づき、看護の知識と実践について教授する。				
5	動物外科看護学実習	必修	2	通年	2単位
	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
6	動物臨床看護学総論	必修	3	前期	1単位
	愛玩動物看護師の仕事、診療記録、動物のライフステージ別の動物看護などについて理解する。動物看護過程について動物看護記録の付け方、動物看護計画の立案など、一連のプロセスを学び、動物看護の基本的な考え方を修得する。				
7	動物薬理学	必修	2	前期	2単位
	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。				
8	動物臨床検査学	必修	1	前期	2単位
	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について学修する。				
9	動物臨床検査学実習	必修	1	通年	2単位
	様々な検査項目に関する基礎を段階的に学び、検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する。				
10	動物行動学	必修	1	後期	2単位
	本講義では、獣医行動学と動物行動学の違いを明確にした上で、心理学が体系化してきた学習理論に基づいた動物の行動の基本的な概念と原理を最新の情報を交えて教授する。また、科学的な行動の観察と検証を行うための、行動の記録法の演習を取り入れ得る。				
11	動物リハビリテーション論	自由	2	後期	1単位
	動物リハビリテーションは動物医療において、近年、関心が高まっており、その施術者として動物看護師の役割へ期待が集まっている。また、家庭動物の高齢化を背景に、動物のQOL(生活の質)の向上が重要視されている。今後の臨床現場で需要が見込まれる動物理学療法、基本的な技術と理論の理解を深めることは、良質な動物看護を提供するために必須である。 リハビリテーションにおける動物の正しい扱いや、機能回復に有効とされるさまざまな運動器具の使用方を修得し、小動物臨床でのリハビリテーションにおける動物看護師の役割の多様性について可能性を探り発展させていく。				
12	動物愛護・適正飼養関連法規	必修	3	前期	1単位
	動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。				

	科目名	必修/選択/自由	学年	開講期	単位数
13	比較動物学	必修	2	後期	2単位
	飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。				
14	動物トータルライフ演習	自由	3	後期	2単位
	食については、飼い主が栄養学的に適正な食事をペットに与えられるようにサポートするため、講義(座学)の中にワークやロールプレイングを取り入れた学修を実施する。演習では衛生管理、食材の選択、調理方法の工夫などの演習を通じた学習で栄養と食事についての理解を深める。 衣では、ソーイング3回で、ペットの手術後の傷口保護に必要な補助用品(エリザベスカラー)を作ります。				
15	動物愛護・適正飼養実習	必修	3	前期	1単位
	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。さらに学校飼育動物の適正な飼育管理の指導法を習得する。				
16	コンパニオンドッグトレーニング実習	必修	2	通年	2単位
	犬の行動特性から社会における危機管理に至る実践と直結した実習内容を裏付ける授業。				
17	臨地実習1	必修	1・2	後期・前期	1単位
	1年次夏季又は春季休暇にキャンパス内に併設されている提携のペットサロンにおいて3日間の実習を行い、2年次において動物関連企業実習を履修するための基礎を学ぶ。臨地実務実習の導入としてグループに分かれて実施する。動物の取り扱い方、マナー、技術、ペットサロンの業務を把握し、1日の仕事を学ぶ。				
18	臨地実習2	必修	1・2	後期・前期	1単位
	動物看護過程に必要な疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する。				
19	臨地実習3	必修	2	後期(令和6年度以前入学生) /通年(令和7年度以降入学生)	5単位
	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を業務に即して活用し、統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。				
20	臨地実習4	必修	3	前期	4単位
	2年次春季休暇に動物関連企業等での実習において「臨地実習1～3」で学んだ動物看護の素養を活かしながら、動物関連企業等の現場(店舗等)での初任者としての必要な実務を学び、スタッフとチームで働くためのコミュニケーションを図り、必要な業務全般を学ぶ。また、必ず2業種の臨地実務実習を行い、幅広い視野と実践力を培う。 事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。				
21	臨地実習5	選択	3	後期(令和6年度以前入学生) /通年(令和7年度以降入学生)	4単位
	3年次夏季休業に動物病院への就職を希望する学生が選択する実習で、動物病院において、8日間ずつ2か所の施設で実施する。職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で学修したことを通して、動物看護師として幅広い視野を養う。 実習の事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。				
22	臨地実習6	選択	3	後期(令和6年度以前入学生) /通年(令和7年度以降入学生)	4単位
	学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、3年次夏季休暇に、基本的に2か所の動物関連企業等の現場(店舗・団体等)で臨地実務実習を行う。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を生かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し顧客対応できる従業員の役割を学ぶ。 実習の事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。				
23	情報危機管理論	選択	2	前期	1単位
	情報倫理、マナー、ガイドライン、規約、ルール、法律の概念を理解する。情報化社会に参画するにあたってなぜ情報倫理が重要であるか、危機管理の観点から、コンピュータとネットワークを利用する際に注意すべき点について学ぶ。どのようなリスクがあるかということを知ること、トラブルから身を遠ざけることができる。情報という著作物を扱うので著作権法を理解する。				
実務家教員担当科目:47単位/卒業要件100単位					